



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 190 号

R7.1.17

文責 中西 勉



### 阪神・淡路大震災から30年

今日は、1995年に発生した阪神・淡路大震災からちょうど30年となる節目の日です。発災当時のことは、保護者の方々はまだ子供でしたので、あまり覚えてみえないかもしれません。しかし、私は教員8年目で、地震発生の午前5時46分はまだ寝ていましたが、非常に大きな揺れを感じて跳び起きた記憶があります。そして、出勤後、担任していた6年生の子供たちと一緒にテレビを見て、画面に映し出される惨状に驚きを隠せなかったことをよく覚えています。

また、今週13日(月)には、宮崎県で震度5弱を観測する地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報(調査中)が出されました。今回は、巨大地震注意の発表は見送られましたが、南海トラフ地震の発生が少しずつですが確実に近づいていると実感しました。

このように、今週は地震の話題が多かったですが、本校では15日(水)に、抜き打ちで避難訓練を実施しました。長放課に訓練の緊急地震速報が流れると、子供たちはすぐに各自で自分の身を守る行動を取りました。その後、運動場に全校児童が集まって点呼を行いました。避難に要した時間は4分30秒。

5分以内に避難が完了できたのは、子供たちの安全確保に対する意識が高かったからだと思います。

訓練の最後に、私は子供たちに向けて、次のように話をしました。「日本で暮らしている以上、南海トラフ地震を避けることはできません。そして、皆さんが活着ている間に、ほぼ確実にその地震は起きるでしょう。その時に、自分の命を守れるかどうかは、心の準備ができていられるかどうかにかかってきます。皆さんは、まず自分の命は自分で守ってください。そして、人に助けられる側になるのではなく、余裕があれば、人を助ける側になってほしいと思います」と。私が校長として最後に男川っ子に伝えたこの思いをずっと心に留め、いつか来る未曾有の大震災を生き抜いていけることを願うばかりです。



### 祝 ルーキー賞 ～ラジオ体操コンクール～

1学期に4年1組の子供たちが挑戦したかんぽ生命主催の「ラジオ体操コンクール」。先日、結果発表があり、OTOGAWA チームが澁漣とした動きを高く評価され、見事「ルーキー賞」に輝きました。そして、今週14日(火)に、かんぽ生命岡崎支店長様が来校され、表彰していただきました。本当におめでとう！



▲阪神・淡路大震災での大きな被害の様子  
～上・下とも「NHK ニュース」より～



▲運動場の真ん中に集まって身の安全を確保する子供たち



▲「ルーキー賞」に輝いた OTOGAWA チーム